

保護者等向け

児童発達支援評価表

公表:令和 4 年 2 月 23 日

アンケート期間:令和3年11月1日～令和3年12月31日

事業所名 ここいる

保護者等数(児童数) 26 回収数 26 集計結果 100%

	チェック項目	はい		どちらとも いえない		いいえ		無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
		数	%	数	%	数	%			
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	92%	2	8%	0	0%	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	24	92%	2	8%	0	0%	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ i になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	25	96%	0	0%	0	0%	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	25	96%	0	0%	0	0%	1	いつもきれいな環境で訓練に臨ませていただいています。砂遊びや鉄棒などの遊び場があるとさらに伸びしろがアップすると思います。	今後、必要な施設整備を行いながら、地域資源も有効活用していきたいと思っています。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ ii が作成されているか	25	96%	1	4%	0	0%	0	支援計画書はきちんとニーズを盛り込んでいただいていたことに感謝しています。	ありがとうございます。日々、お子様の変化や状態を観察しながら支援をしていく中で保護者様と連携し個別支援計画を作成しております。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26	100%	0	0%	0	0%	0		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24	92%	2	8%	0	0%	0		
	8 活動プログラム※ iii が固定化しないよう工夫されているか	26	100%	0	0%	0	0%	0		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	13	50%	8	31%	4	15%	1		今後の活動の中で地域の園等との交流も考えていきたいと思っています。
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	96%	1	4%	0	0%	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	26	100%	0	0%	0	0%	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※ iv 等)が行われているか	13	50%	9	35%	2	8%	2		今後、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)の実施も考えてまいります。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	26	100%	0	0%	0	0%	0		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	92%	2	8%	0	0%	0		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	23%	13	50%	5	19%	2	年に1回くらいここいるでお茶でも飲みながら育児の話を保護者同士でするのもしいかもしれません。	今後は保護者様同士のつながりを充実していけるよう努力してまいります。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	25	96%	1	4%	0	0%	0	急な相談にも関わらず迅速に対応していただきアドバイスしてくれた。最初は何をする場所かイメージがつかめず不安だったが先生達とのかわりの中で今では安心して通えるようになった。	児童発達支援管理責任者を始め、専門職がお子様の成長や保護者の育児の相談に応じていける体制を整えています。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	96%	1	4%	0	0%	0		
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20	77%	4	15%	2	8%	2		りはくるのホームページに「ここいる」の活動概要も掲載しています。また毎年自己評価表の結果やスタッフのブログもご紹介します。今後は行事予定なども掲載していけたらいいと思います。
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	24	92%	2	8%	0	0%	0			
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	19	73%	4	15%	2	8%	1		契約時に緊急時の対応を説明しております。今後はホームページでも周知できるようにしていきます。利用者様が安心して通所できる対策を強化していきます。定期的に火事、地震、津波を想定した避難訓練を活動に取り入れていきます。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	46%	9	35%	2	8%	3		
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	25	96%	1	4%	0	0%	0	とても楽しみにしています。	ありがとうございます。子どもたちの笑顔が増えるように今後も触れ合い支援していきたいと思っています。
	23 事業所の支援に満足しているか	26	100%	0	0%	0	0%	0		

※ i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※ ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※ iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

